

介護・福祉職員処遇改善加算「見える化」要件

◆フェリーチェの加算の取得状況

算定内容
・福祉・介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）

当法人における処遇改善に関する具体的取組（賃金改善以外）につきまして、以下のとおり公表します。		
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者、有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	経歴問わず、面接前の現場見学を導入し、職場とのマッチングを行っている。また要望があれば勤務形態等を柔軟に対応している。
資質の向上	働きながら介護福祉士等の資格取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害者支援者養成研修、サービス管理責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の福祉・介護職員の負担を軽減する為の代替え職員確保を含む	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修については、毎年度初任者研修、実務者研修等、勤務経験等に応じて職員に受講させている。 職員全体の「資質の向上」を図る観点から、外部研修受講者は受講後その他職員に向けて伝達研修を行い、外部研修で取得した知識、技能のフィードバックを行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規社員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	非正規職員から正職員へ奨励している
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	有給休暇取得推進を積極的に行っている
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断、ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 年次健康診断の実施 精神面に係わるストレスチェックの実施 分煙スペースを設置し健康面への配慮を行っている
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	各種委員会の運営やマニュアルの作成を実施
生産性向上のための業務改善の取り組み	業務手順書の作成や記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	各種記録、報告書、日誌等により職員間での情報の共有を行っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	ミーティングで職員の意見交換を行い、支援内容や環境について話し合っている。またパートさんにも参加してもらい意見をいただいている。